

日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現を目指した取組を応援する広報誌です。

【特集】世界遺産・二条城を次の世代へ ～本格修理に向けて一口城主募金の受付を開始～

○築城以来の本格修理

元離宮二条城は、慶長8年(1603年)、徳川家康が京都御所の守護と上洛のときの宿泊所として造営し、3代将軍家光により改修され、寛永3年(1626年)に完成したお城です。城内には、国宝の二の丸御殿をはじめ、数多くの文化財建造物が残されており、平成6年には、古都京都の文化財としてユネスコの世界遺産に登録されています。

京都市では、この世界遺産・二条城を、日本のみならず世界の財産として、次の世代へ保存・継承していくために、平成23年度から20年の歳月をかけ、築城以来となる本格修理を予定しています。



二の丸御殿(国宝)



本丸御殿(重要文化財)



現在



復原予想図

保存されている部材を使用し、復原を計画している二階廊下と溜蔵

○一口城主募金の受付を開始

本格修理には、多大な資金と年数を要することから、多くの方々のご支援を得るために、今年10月に「世界遺産・二条城一口城主募金」を創設しました。

この募金では、1万円以上の寄付者には、寄付金額に応じて、一定期間の入城が無料となる「入城証」、非公開文化財や修理現場などを見学できる「1日城主」の抽選権利などを進呈します。

世界遺産・二条城一口城主募金へのご理解・ご協力を！

お問い合わせ 京都いつでもコール(京都市市政情報総合案内コールセンター)

TEL.075-661-3755 FAX.075-661-5855

元離宮二条城事務所ホームページ <http://www.city.kyoto.jp/bunshi/nijojo/>

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

「京都創生推進フォーラム連携支援事業」対象事業決定

京都創生推進フォーラムでは、会員の皆様と連携し「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた取組を推進することを目的に、その趣旨に沿った事業を支援する「京都創生推進フォーラム連携支援事業」を実施しています。

京都創生推進フォーラム運営委員会による選考の結果、平成22年度は次の2事業を対象事業として選定しました。

対 象 事 業

○花街文化研究会 **文化**

(シンポジウム) 花街文化シンポジウム ― 花街文化の継承を考える ― 平成22年8月29日 開催

○街の色研究会・京都 **景観**

(シンポジウム) 京都の街の景観を考える・2010 平成22年10月30日 開催 テーマ「京都の街の色」
平成22年12月11日 開催予定 テーマ「京都の屋外広告物」

事 業 紹 介

花街文化シンポジウム ― 花街文化の継承を考える ―

花街文化研究会

◆開催日 平成22年8月29日(日)

◆場 所 弘道館(京都市上京区)

◆内 容 花街の文化継承について、京都と新潟古町の研究者がそれぞれ報告し、来場者とともに語り合う。

企画趣旨

花街は、衣食住にわたる多様な側面において、歴史的、社会的に重要であるにもかかわらず、総合的な視点からの研究がなされてきませんでした。

今回は、新潟の花街・古町の歴史やまちづくりに携わる研究者を迎え、建築、歴史、行政の立場から花街の文化継承について語り合いました。新潟との対比から、京都の花街がいかに奇跡的に残されているかということを認識し、未来にむけてその文化継承のために、さらなる地道な研究の必要性を思った次第です。



ひとこと

花街の多様な文化的側面を研究という立場から掘り下げ、また広めていこうという活動をしています。去年は『京の花街 ひと・わざ・まち』という本を出版しました。今後、全国の花街とつながりあい、問題を共有していきたいと考えています。

京都創生トピックス

京町家保全・再生に向けた国際協調プロジェクトが進行中

平成22年11月、ワールド・モノユメント財団からの支援を受け修復工事が進められてきた釜座町の町家(町会所)が完成しました。

ワールド・モノユメント財団は、歴史的建造物などの文化遺産の修復・保全を目的に様々な活動を行っているアメリカの非営利民間組織です。同財団に対しては、京都市の京都創生海外発信プロジェクトを契機に、NPO法人京町家再生研究会や財団法人京都市景観・まちづくりセンターが、京町家の保全・再生の必要性を訴えてきました。こうした取組の結果、平成21年10月に、修復・保全が今求められる建造物として、「京町家群」が同財団の「ワールド・モノユメント・ウォッチ・リスト」に選定され、世界に向けて幅広い支援が呼びかけられています。そして、平成22年5月には、京町家を修復し活用する京町家再生プロジェクトに対し、総額25万ドルの支援が実現。この資金を活用し、釜座町の町家の修復工事が進められてきました。

新しくなった町家は、地藏盆など町内会行事に活用されるとともに、京町家の再生に携わる京町家作事組の事務所が入居し活動されます。また、京町家再生プロジェクトの一環として、京町家の伝統や豊かな暮らしの文化を伝える取組も行われます。

(注釈) 町家(ちょういえ)…町内会の持ち物で、会合や地藏盆などに使用される建物。

京町家の保全・再生の取組について詳しくは、
(財)京都市景観・まちづくりセンター

<http://machi.hitomachi-kyoto.jp/>



修復前の外観



修復後の外観



修復後の内観

第14回京都創生連続セミナー

京都創生推進フォーラムと京都市では、「国家戦略としての京都創生」の実現に向けた市民の皆様の自主的な活動を推進するために、景観・文化・観光分野の専門家から、京都の魅力や素晴らしさ、課題などを伺い、京都への理解を深める、京都創生連続セミナーを開催しています。

第14回セミナーでは、京都の生活文化に関するお話を通して、京文化の本質などについて考えました。



伝統生活の構成要素とその展開 ～京文化の将来を探る～

開催日：平成22年10月30日（土）

会 場：池坊学園こころホール

講 師：芳井 敬郎 氏（花園大学副学長）

○プロフィール

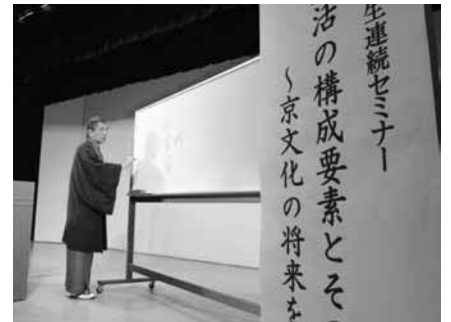
1947年生まれ。國學院大學文学部卒業。花園大学副学長、同大学文化遺産学科教授。専門は、日本文化史、民俗学。編著書に「民俗文化複合体論」「祇園祭」「織物技術 民俗誌」などがある。

■家訓から見る永續の考え方

京都では、代々そこに住み商売を続けている家が多いわけですが、これまで、どういうことを信条として暮してきたかについて、老舗商家の家訓から読み取ることができます。

ある家訓には、親から受け継いだ財産は家に属するものであって個人のものではない。当主は財産を私物化せず、先祖から預かったものであるという認識で商売にいそしめ、とあります。そして、真心をもって人を使い、奉公人には暖簾分けせよ、と言っています。暖簾分けしてもらった奉公人は、主人に感謝し、お世話になった主家に何かあれば、助力を惜しまないということです。

これらの記録からも、当主を中心とするピラミッド社会を成立させることによって、その家を長く続かせ、日本でも希少なほど多い老舗を形成してきたことが分かります。



■型の文化の継承

京都は型の文化というものを大事にしてきたからこそ、京都というものが存続し、よそと差別化、差別化できているのだと思います。何事にもまず型は必要であり、その上で、初めて個性が生まれます。嬉しいとき、悲しいとき、苦しいとき、みんな表情にしますが、その表現には文化が反映し、型があるのです。京都の花街では、いまでも型の文化というものを大事にしています。祇園町が特殊な雰囲気形成するのには、やはり内部の人間が型を大事だと考える精神が残っているから、ほかのものに迎合せずに、江戸時代と変わらない姿を保っているのです。

■老成の美学

京都には「老成の美学」というものがあります。年を取る、年を経るということが一つの美になる、という考え方です。これはやはり、京都の一つの伝統です。アメリカは若さを保つということを大事にする文化ですが、京都はそうではないのです。今後も、京都はもっと古臭さを見せた方がいいということです。若い人にとっては、京都の伝統文化が逆に目新しいものと映ります。だから、私は、京都では「老成枯淡の良さ」というものを求めていってほしいと思います。



老成するということ、型を大事にすること、いま日本人が忘れていたものを大切に、今の教育のなかで、もう古臭いと言われたものを発掘しながら、京都は進んでほしいと思います。古いもののオリジナルの良さというものを熟知して、それを具現化していく。これが京都の生き残り作戦として大事なことだと思います。

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
京都の伝統工芸職人実演と 五花街の舞妓舞台「匠と舞」	月ごとに変わる製作実演と 伝統工芸品を身に着けた舞 妓さんの舞台。	開催中 ↓ 平成23年 3/31(木) 9:00~17:00 (入場は16:30まで)	京都伝統産業ふれあい館 常設展示場・特設舞台 (京都市左京区岡崎成勝寺町 9-1 みやこめっせ地下1F)	無料	不要	(財)京都伝統産業交流センター 075-762-2670 「匠」職人実演 月曜日を除く毎日 10:00~16:30 「舞」舞妓舞台 日曜日14:00・ 14:30・15:00(各15分)
第22京都絞りフェア2010 一絞り几帳 春夏秋冬一挙公開	日本最古の染色技法「絞り 染」を用い、8年がかりで制 作した作品公開。	開催中 ↓ 12/23(木) 9:00~17:00	京都絞り工芸館 (京都市中京区油小路通御 池南入)	500円	不要	京都絞りフェア実行委員会 075-221-4252
「誰ヶ袖屏風展」	実物の小袖を押え絵貼りし た誰ヶ袖屏風と唐織・厚板 の裂を展示。	開催中 ↓ 平成23年 2/28(月) 10:00~17:00	鈴木時代裂研究所 (京都市中京区丸太町通室 町西南角)	500円	要	鈴木時代裂研究所 075-231-2496
京都定期観光バス 京都・嵐山花灯路コース	花と灯りにより幻想的に演 出された嵐山一帯を散策。	12/10(金) ↓ 12/19(日)	京都駅烏丸口のりば 17:30出発 所要時間 約3時間	大人(夕食付) 4,200円 大人(自由食) 2,100円	要	京都定期観光バス予約センター 075-672-2100
伏見学2010	自然・社会・人文等の分野 から、伏見と周辺を学ぶ公開 講座。	12/11(土) 13:30~15:20	聖母女学院短期大学 (京都市伏見区深草田谷町1)	無料	不要 定員 200名	聖母女学院短期大学 075-643-6781(代)
関原紫水・京人形展	見る方の心が和み癒されま すように…と願い作った人 形の展示。	12/13(月) ↓ 平成23年 2/28(月) 9:00~16:00	石清水八幡宮・清峯殿 (京都府八幡市八幡高坊30)	無料	不要	石清水八幡宮研修センター 075-983-3983
人は節句	新年を祝い書初めと初活け、 初釜をしてお節料理をご用 意。	平成23年 1/9(日) 10:00~16:00	山茶花社 (京都市中京区車屋町通竹屋 町下ル少将井御旅町352)	3,500円 (予約) 4,000円 (当日)	要 事前 申込	山茶花社 075-211-4061
梅原猛と10人の アーティスト展	梅原猛と現在、芸術界で活躍 する10人のアーティストた ちの展覧会。	平成23年 1/11(火) ↓ 2/5(土) 10:00~17:00 休館日 月曜日	中信美術館 (京都市上京区下立売通油 小路東入西大路町136-3)	無料	不要	財団法人中信美術奨励基金 075-223-8385
禅寺探訪 〜妙心寺塔頭寺院巡り〜	玉龍院・大法院・天祥院を お坊さんが和やかにご案内。	平成23年 1/22(土) ↓ 3/13(日) 12:00~15:00	臨済宗 妙心寺派 花園会館 (京都市右京区花園木辻北 町1-5)	3,800円	要	臨済宗 妙心寺派 花園会館 075-461-6857
第36回公募昭和美術会展	絵画の全国公募による入選 作品の展覧会です。文部科学 大臣賞他の賞あり。	平成23年 1/25(火) ↓ 1/30(日) 9:00~17:00 (入場は16:30まで)	京都市美術館(本館) (京都市左京区岡崎公園内)	大人 800円 高・大生 500円	要	昭和美術会 075-751-8938(代)
JAPAN RESTAURANT WEEK 2011 KYOTO WINTER SPECIAL	京都を代表する一流参加店 舗が、特別価格にて特別メ ニューをご提供。	平成23年 2/1(火) ↓ 2/28(月)	京都市内全域の登録飲食店	2,100円 5,250円 10,500円 15,750円		ジャパン・レストラン・ウィーク 実行委員会 0120-05-9672 ※予約受付は各店舗にて承りま す。(店舗によっては要予約。)
第4回 京野菜検定	京料理に欠かせない京野菜 についての全般的な知識を 問う検定。	平成23年 2/5(土) (試験日) 13:30	リーガロイヤルホテル京都 (京都市下京区東堀川通塩 小路下ル松明町1)	2,000円	要	社団法人 京のふるさと産品協会 075-671-0167 (申込 11/1(月)~12/13(月))
新興美術院京都支部展	関西地区の会員のみで日本 画で30号以下の作品を30 点を展示。	平成23年 2/25(金) ↓ 3/2(水) 11:00~17:30	オプト・ギャラリー (OPT. GALLERY) (京都市中京区寺町通御池 下ル東側)	無料	不要	新興美術院京都支部 0773-22-4490

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

※広報誌「京都創生」イベントカレンダーの事業名に以下の誤りがありました。内容を訂正し、深くお詫び申し上げます。【誤】人は節句 【正】人日節句

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」

発行日 平成22年12月10日

発行 京都創生推進フォーラム (事務局：(財)京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通表川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)